

1月の支出(図書、備品、慶弔、飲食は除く)

33,154円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにしま

印刷代(月刊武松印刷代)	14,767円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	12,405円
通信費(携帯電話、郵送代)	5,982円
支出計 05/1/6~05/1/31	33,154円
寄付 村々さん、ヤマカさん、マツイさん、匿名2名	42,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
05/2/1

第61号
10800部発行

頒布責任者：武松 忠
武松政策研究会

近所付き合いが生命を左右!?

63%が近所の人に救出された! (阪神大震災)

新潟県中越地震やインド洋の大津波など大規模災害が続いていますが、小田原でも地震や高潮の被害が出ています。訓練や準備も大切ですが、日頃の近所付き合いが生命を左右することもあります。

■63%が近所の人に救出された!

阪神大震災で、倒壊家屋などから救出された人の63%が近所の人に救出され、19%の人が家族、消防職員等に救出されたのは2%だけでした。大規模災害時は救急車も消防車も現場には来れません。まさに近所付き合いが生命を左右しました。

■地震の被害を最小限にとどめる4つのポイント

- 1.家が壊れない(耐震化、家具の固定)
- 2.ケガをしない(場に応じた対応、懐中電灯、スリッパ)
- 3.初期消火(チャンスは3度)
- 4.助け合い(全員がリーダー、全員が被災者)

■初期消火の3つのチャンス

- 1.揺れの小さいうちに火の始末
- 2.揺れが収まってからの火の始末
- 3.火事になってしまっても火の小さいうちに初期消火

■地震のタイムスケジュール

- ・激しい揺れが収まるまで(命を守る時間)
揺れが収まるまでは身の安全確保に全力を尽くす。
- ・揺れがおさまって1分(家族を守る時間)
家族の無事を確認、手分けして火の始末。
- ・2分から15分(まちを守る時間)
近所に声を掛け合い無事の確認、火の始末の呼掛け
- ・15分から12時間(被害の拡大に備える時間)
消火活動や救出・搬送など近所で助け合って、被害の拡大を防ぐ。避難の指示に備える。
- ・12時間以降(生活を守る時間)
外出している家族の安否確認、備蓄物資で当面の衣食住をしのぐ。
- ・3日目以降(生活を建て直す時間)
公的機関による応急活動や復旧活動が本格化。

■3日分の食糧の備蓄を!(全市民分ありません)

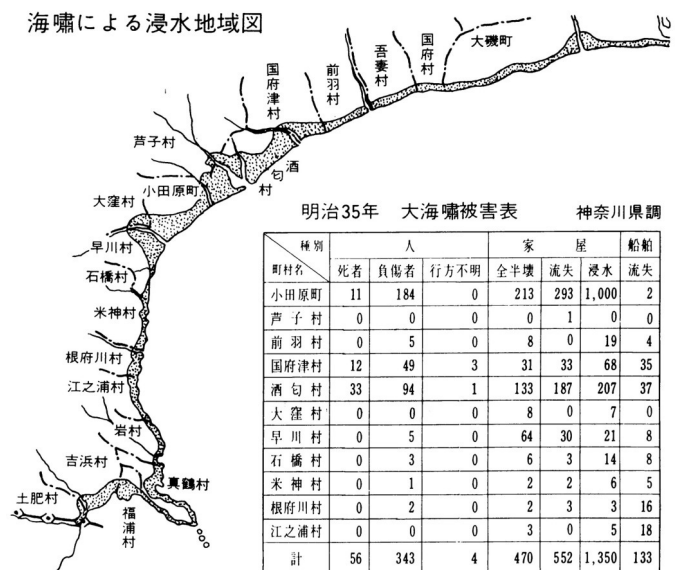
食料と毛布は、3.1万人分。飲料水は、20万人の3日分を目標に整備中です。

■高潮で死者不明者60人!(1902年)

図2はスマトラ島の写真ではありません。小八幡の様子です。森戸川は河口から約800m、酒匂川は約1.2km(小田原大橋付近)まで浸水しています。現在は西湘バイパスが海岸堤防の役目を果たしています。

(参考資料:市制40周年記念誌)

海嘯による浸水地域図



▲図1 明治大海嘯(1902年の高潮浸水地域)



▲図2 大浪でつぶされた家々の復旧をする人々 小八幡付近

駅横に大学開設!?

国際医療福祉大学（栃木県大田原市）の小田原キャンパス開設に向けて準備が進んでいます。

- ・名称：(仮)国際医療福祉大学小田原保健医療学部
- ・開設予定：平成18年4月1日
- ・予定地：小田原駅西口JR東日本社宅跡地
- ・土地面積：3261.44㎡ 3月着工予定。
- ・建物：地上8階建のRC造り
- ・延床面積：13045.76㎡

- ・設置学科：看護学科、理学療法学科、作業療法学科
- ・生徒定員：520名

この計画に対し、**商工会議所、商店街連合会、自治会等が賛同の陳情**を市議会に提出されました。また**小田原医師会が反対陳情**を提出されました。

私は、大学院サテライトキャンパスの設置や図書館の開放なども予定されているため、大きな期待を持っています。この進出を切っ掛けに他の大学の工学系や化学系のサテライトキャンパス等が進出して欲しいと思います。

The Voice 今までに頂いたご意見から

体育館の規模が生徒数に見合っていない！ 鴨宮地区在住

鴨宮地区に住む住人として現在非常に問題になっていることがあるのでメールいたしました。当地区は小田原のベッドタウンとしてバブル以降住民の増加率が顕著になっており、富士見小学校・下府中小学校・酒匂中学校・鴨宮中学校等などは生徒数が大変増加しています。

この中で特に問題になっているのが**中学校の体育館設備の不足**です。酒匂中などは体育館はバスケットコート1面しかなく、その中で男女のバスケット・バレー・バトミントン・剣道・卓球などが活動していますが、平日は勿論のこと、土日の休日でも各2時間くらいしか練習時間がとれなく、西湘地区体育センター・マロニエ・印刷局の体育館なども料金が高く、また休日は空いていないのが現状です。

また顧問の先生もそれらスポーツの経験のないばかりで、練習方法もままならない為、毎週のように朝早くから夜遅くまで練習試合にでかけ、レギュラー以外の生徒は満足に練習もできません。1ヶ月に8回も練習試合に連れ回す部もあり、費用もかさむ為、何とか近場で練習をするように保護者が申し入れても、実現してもらえない状態です。どうも練習試合がサロン化し、先生達の情報交換の場として利用され、生徒無視の状態があるようです。

中にはしっかりした部外コーチが指導している部もあるようですが、クラブチームをつくろうにも小学校・中学校の体育館などは夜間開放も満杯となっています。夜間のクラブスポーツは欧州では非常に盛んですが、当地区は住民数と体育施設数がミスマッチなのか、それとも施設の運用方法が悪いのかわかりませんが、非常に劣悪な状況といえます。中学校教育が内申制度の影響で非常に荒廃している中で、**部活動の存在は生徒達にとって唯一の人間形成の場**だと思います。鴨宮近辺は大企業の工場撤退・リストラ・娯楽設備の増加により教育環境は加速度的に劣悪化してきています。

酒匂中の悪夢がよみがえる前に市政の問題として速やかに実態調査及び問題提起を御願います。

非常に解決の難しい問題です。酒匂中学校は、今年度生徒数が小田原一になりました。また、富士見小学校北側の県営住宅工事が始まるなど更に状況も変わってきます。

短期的には、利用状況を調査し、国や県の施設に対し中学生優先の日や時間帯を設けてもらうなどしか思い浮かびませんが、対象施設に調査権がありませんので時間を頂きたいと思います。（武松）

武松政策研究会 月例勉強会のお知らせ

日 時：2/19（土）18時～20時 場 所：市民会館6階第1多目的室

テーマ：「小田原市防災情報システムについて」

講 師：小田原市役所防災部担当職員

参加費：100円 終了後、実費で懇親会を行いますので参加よろしく願いします。



ホームページでは、日刊武松（日記）や、月刊武松のバックナンバー、一般質問の会議録も見ることができます。**YAHOO!**で「武松忠」または、「たけまつただし」と入力すると検索できます。

URL <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>

i-mode <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/i.htm>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 ダイシティ東出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで
月刊武松は**本人とボランティアが配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**